



第25回全国ヤングクラブ優勝大会U-14男子 準優勝

みずの とあ あかほり そうや 水野 叶愛さん 赤堀 颯哉さん みわ 三輪 ゆうさん



PROFILE

④みずの とあ(上朝比奈・174㍎) 令和4年度中学生ジュニアオリンピック静岡県選手団12人に選出。兄の先輩である同チームコーチに誘われ、加入した。リベロからスパイカーに転身。得点を決めたときの気持ちよさに魅力を感じている。

⑤あかほり そうや(下朝比奈・168㍎) 叶愛さんに憧れ、同チームに加入。スパイカーからセッターに転身し、自身がつないだボールがメンバーによって得点になるうれしさに気付く。

⑥みわ ゆう(新野東・162㍎) 同チームコーチの知り合いに勧められて加入。ブロックやスパイクなどバレーボールに難しさを感じながらも、ボールをつなげ、得点になることに魅力を感じている。

掛川市を拠点に活動するヤングバレーボールクラブ「掛川スペランツァ」が、5月8日に開かれた第20回静岡県ヤングバレーボール大会で優勝し、9月24日・25日に大阪府で開かれた「第25回全国ヤングクラブ優勝大会U-14男子」で準優勝した。

全国大会準優勝

同クラブには、磐田市「牧之原市の中学1年生から3年生までの11人が所属している。その中には、浜岡中学校に通う3年生の水野叶愛さん(上朝比奈)と2年生の赤堀颯哉さん(下朝比奈)、三輪ゆうさん(新野東)がいる。3人は、同校男子バレーボール部に所属しながら、同クラブにも所属し、毎日バレーボールの練習に励んでいる。

叶愛さんは、小学1年生のときに、バレーボールをやっていた両親と兄姉の影響で始めた。同クラブではキャプテンを務めており、全国準優勝について、「大変だった練習の成果を残せてうれしい反面、準優勝で悔しい」と話す。

颯哉さんもバレーボールをやっていた両親と姉2人の影

響で小学2年生のときに始めた。準優勝という結果に、「全国大会決勝では、県大会決勝で勝った伊豆の国市のチームに負けて悔しいが、準優勝でも十分すごいこと。支えてくれた監督やコーチ、家族に感謝の気持ちでいっぱいだった」と振り返る。

ゆうさんは、小学5年生のときに友人に誘われ、バレーボールを始めた。同クラブに所属して間もないころに大会が開催され、試合には出場できなかつたが、「メンバーが一生懸命プレーしている様子を見て、応援に熱が入った。良い経験ができた」と話す。

さらに高みを目指して

叶愛さんは今後の活動について、「県代表として出場する12月のジュニアオリンピックカップや進学後の大会でも優勝したい」と気合い十分。颯哉さんとゆうさんも「次の大会は先輩の分も背負って優勝を目指す」、「県代表に選ばれたり、いろいろな大会で優勝したりしたい」と力を込める。バレーボールで頂点を目指す3人の今後の活躍に期待したい。